

PHOTO PALETTE



3月31日、ヤングプラザで親子リトミック体験講座が行われました。リトミックとは、子どもが音楽を聞き分け、それぞれのリズムに合わせて体を動かし、想像力や表現力などを養う教育のことです。参加した鈴木幸子さん、沙菜ちゃん親子(鶏下・13区)は、「子どもにリトミックを経験させることができたので、こういった子ども向けの講座を、また開講してほしいですね」と話していました。



ねえ、おかあさん、音楽にもわせて体を動かすのがって楽しいね!

おうらを緑豊かな町に...



4月16日、役場庁舎北側駐車場で緑化苗木の無料配布を行いました。今回は温州みかんの苗300本を配布。これは緑化推進活動の一環として毎年行っているもので、緑の募金からの補助を受けて用意されました。今年は、東北地方太平洋沖地震の義援金の募金も同時に行われました。

今度は玄孫の顔を見たい



4月16日、高田はなさん(秋妻・17区)が100歳を迎えました。高田さんは、「昭和5年にお嫁にきて、農業をしながら6人の子どもを育て上げました。今でも家の周りを草むしりしているんですよ。長生きのひけつは、何と言っても家庭円満。今度は玄孫の顔を見たいです」と話していました。

うまくお返事できるかな?



4月6日、町内の保育園で入園式が行われました。晴天に恵まれたこの日、お父さんやお母さんに手を引かれ、入園式に参加した子どもたちは101人。これから新しい保育園生活がスタートします。北保育園では、入園した子どもたちに、在園児たちが元気に歌を披露していました。

町の歴史 — 最終回 —

完

昭和四十七年からの連載に幕を閉じる

細谷清吉(歴史研究者)

永い間、広報おうらに執筆してこられた、歴史研究家の細谷清吉さんが、去る四月八日に逝去されました。享年八十八才。これをもって、「町の歴史・町の年代記」は最終回(二五三回)となります。細谷さんは、永きにわたり邑楽町などの郷土史を研究、積極的な資料収集や九州・四国をはじめ全国各地への現地調査など、町の歴史の掘り起こしに多大なる貢

献をされました。そして、郷土への認識を広め、住民の誇りと郷土愛を高めるとともに、これらの内容は、町の歴史の記録としても、大変貴重なものになっています。【広報おうら連載の軌跡】

「町の歴史探訪 昭和四十七年十二月〜昭和五十一年六月(全四十二回)」
「町の歴史人物 昭和六十年四月〜平成十一年二月(全二十六回)」
「古代の邑楽町 平成十一年四月〜平成十八年九月(全九十回)」
「町の年代記」平成十八年十月〜平成二十三年四月(全五十五回)
他にも著書多数、邑楽町誌の編集にも携わる

探訪調査を重ねて史実を追求し続けた研究成果と郷土愛が生んだ著書。

- 中世の邑楽町 町の埋もれた伝説・伝承を発掘し、地名社寺の由来を明らかにした、貴重一冊
- 新田義貞四天王 太平記に登場する、天下無双の豪傑、篠塚伊賀守重広、篠塚伊賀守重広の謎に迫る
- 町の歴史人物 南北朝時代の乱世を駆け抜けた細谷右馬助秀国をはじめ、八人の町の歴史人物を集録
- 古代の邑楽町付 観音霊場 東山道武蔵支道をはじめ、古代邑楽町を知るきっかけになる一冊

遺稿 「新田邑楽の古代中世の研究」(製本中)